

十勝岳

1 概況

62-2 火口は高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 噴煙および火口の状況

62-2 火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙の高さは概ね火口縁上 100 m で推移しました。同火口の熱活動に大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定されます。

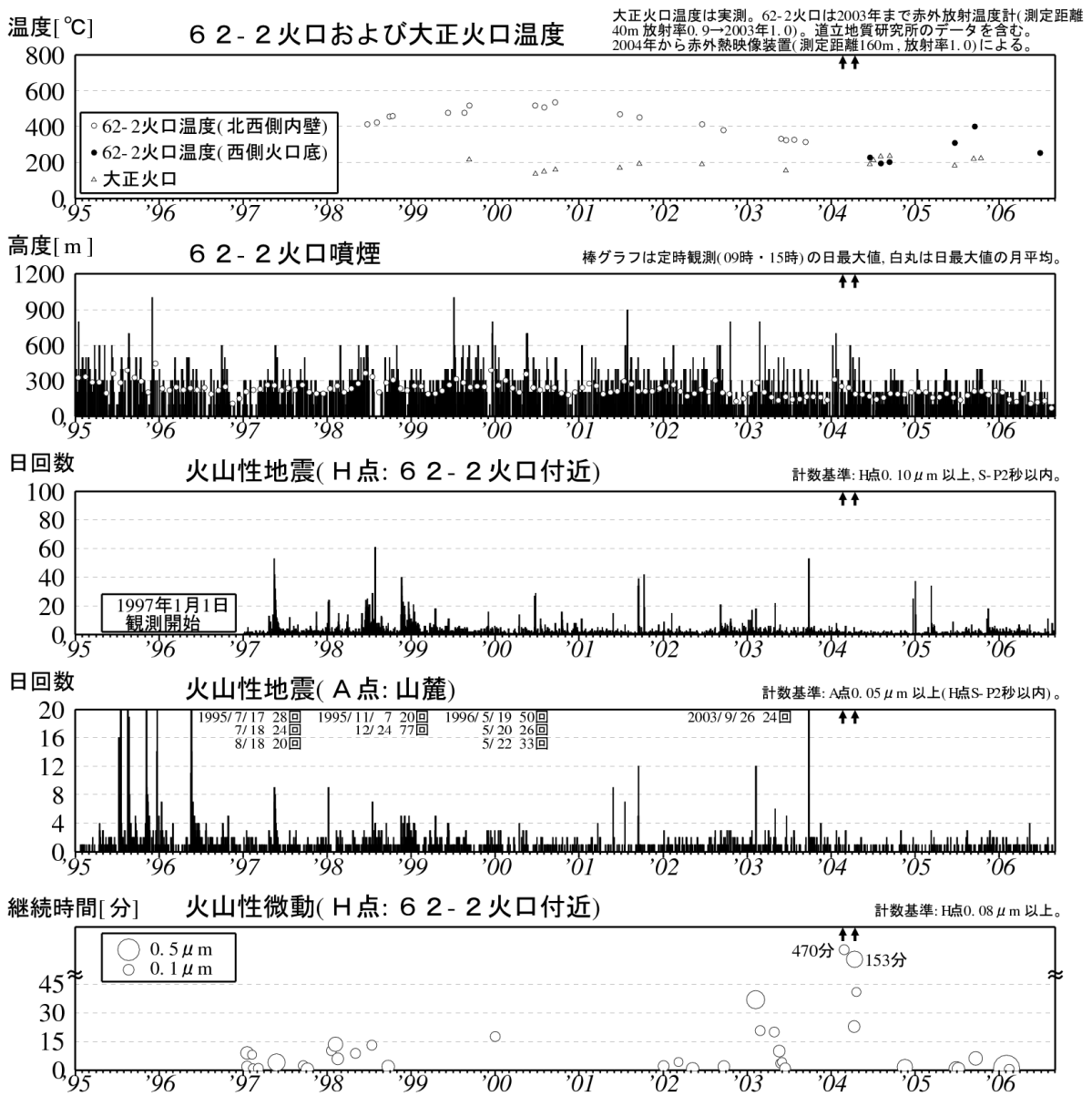


図1 十勝岳 最近の火山活動経過図(1995年1月～2006年8月) ↑印はごく小規模な噴火

十勝岳の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は、1 日あたり 0～8 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様、主にグラウンド火口周辺の浅い所（山頂から深さ 1～3km 付近）に分布していると推定されます。火山性微動は観測されませんでした。

表 1 十勝岳 地震・微動の月回数（H点：図2のTOKH A点：TOKA）

2005～2006 年	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
H点地震回数	29	25	78	69	32	44	48	37	32	16	25	22
A点地震回数	2	7	14	9	6	8	10	4	12	3	6	2
H点微動回数	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

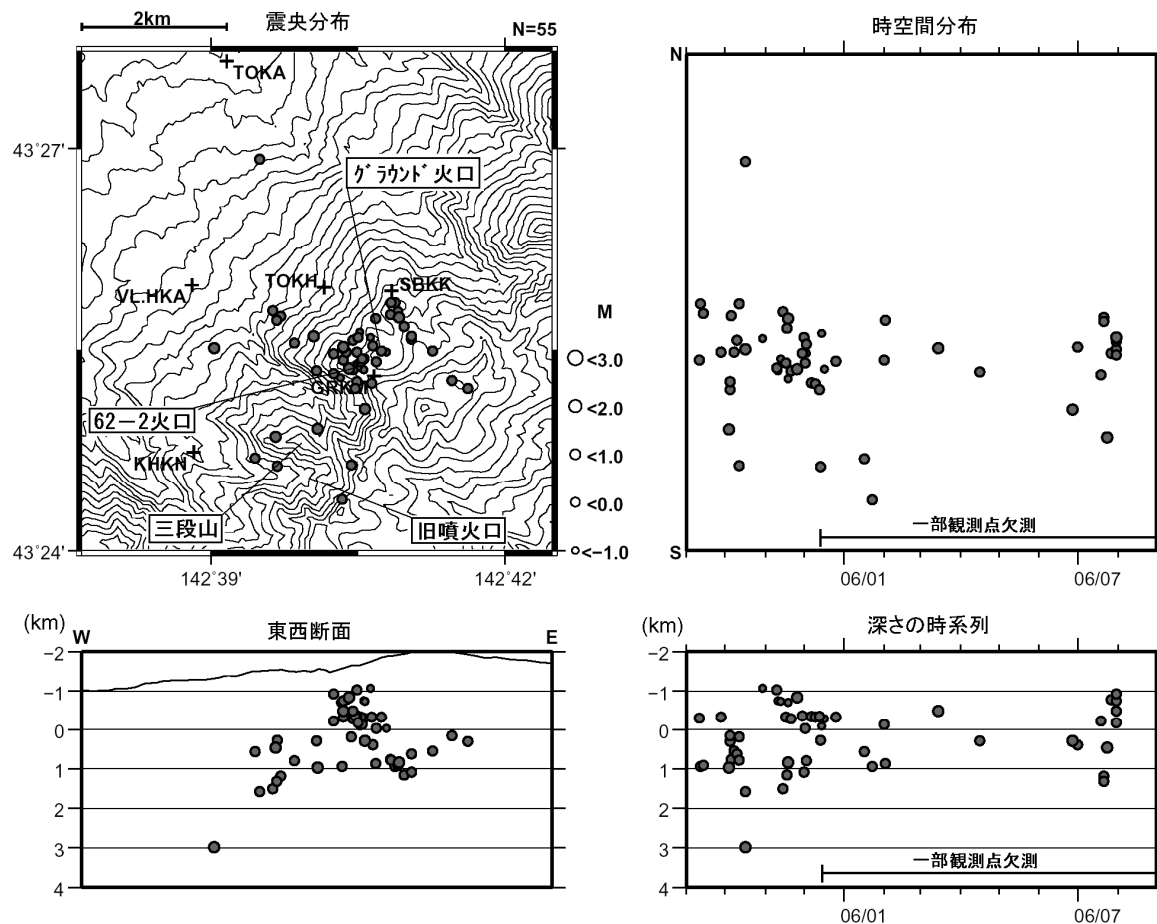


図 2 十勝岳の震源分布図（2005 年 9 月～2006 年 8 月、+は地震観測点、気象庁と北海道のデータを使用）

※2005 年 12 月 19 日以降、一部観測点欠測のため震源決定能力が低下しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間（2005 年 9 月～2006 年 7 月）に求まった震源を示しています。

前期間までの震源はグラウンド火口周辺の浅い所（山頂から深さ 1～3km 付近）に集中しているほか、三段山～旧噴火口周辺の浅い所にも分布しています。今期間に震源の求まった地震はありませんでした。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。

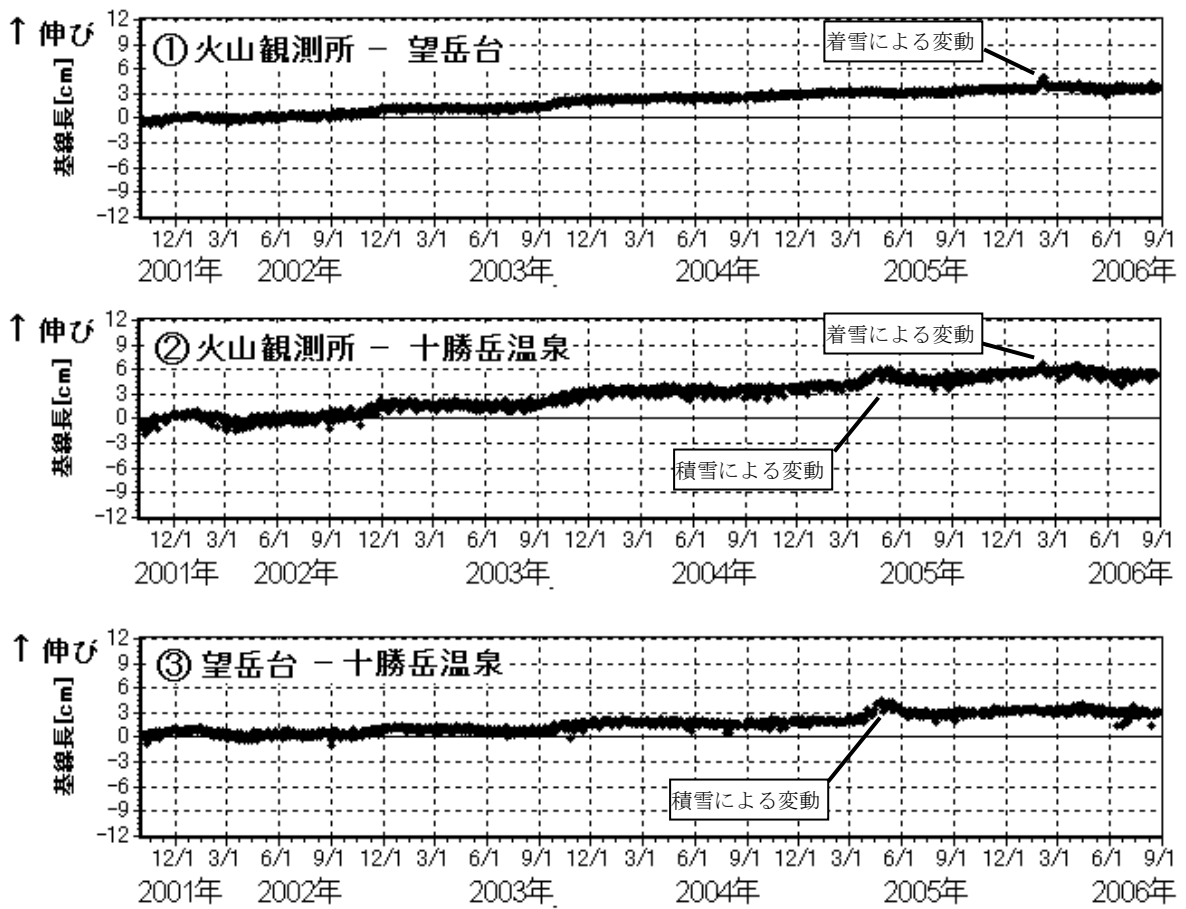


図3 十勝岳 基線長変化（2001年10月～2006年8月）

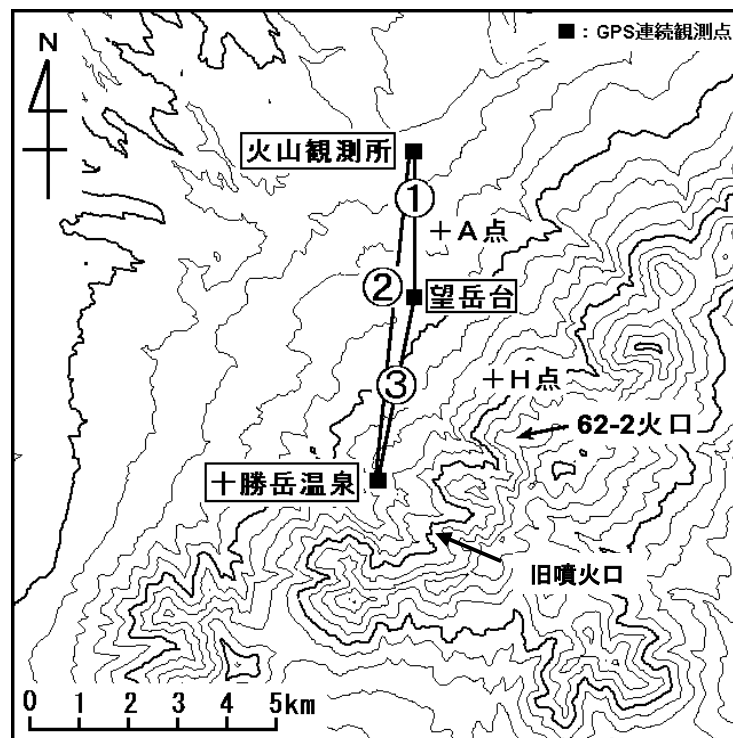


図4 十勝岳 GPS 観測点配置図